

## 効果指標と目標値

今後のみちづくりの効果指標及び概ね5年後の目標値を下表のとおり設定しました。

効果指標			実績 (R5 年度末)	目標値 (R11 年度末)
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり				
1	施策 1-1	都市計画道路の整備率（総延長：607,360m）	83.5% (507,112m)	85.9% (521,442m)
2	施策 1-2	主要渋滞箇所における渋滞対策の実施済み箇所数 （対象：市管理18箇所）	6箇所	8箇所
3	施策 1-4	橋梁・モノレール長寿命化対策工事の着手率 （対象：R1～R5 定期点検で健全性Ⅲに分類された 構造物）	橋梁 48% モノレール 11%	橋梁 100% モノレール 100%
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり				
4	施策 2-4	自転車通行空間の整備延長	44.7 km	80 km
5	施策 2-7	市内における道路照明のLED化率 （全灯数：17,743灯）	90% (15,896灯)	100% (17,743灯)
6	施策 2-8	北九州市道路サポーターの加入団体数	259 団体	275 団体
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり				
7	施策 3-1	通学路の合同点検の実施率 （※点検3巡目となる令和7年から5年間を目処 に全ての小中学校区を対象に実施）	—	100%
8	施策 3-1 施策 3-2	ビッグデータを活用した交通安全対策の着手地区数	9 地区	14 地区
9	施策 3-3	主要駅周辺の特定道路等のバリアフリー化率 （総延長：43,930 m）	95% (41,840m)	100% (43,930m)
10	施策 3-4	事故危険箇所における事故防止対策の実施済み箇所数 （対象：市管理88箇所(第5次指定箇所まで)）	85 箇所	88 箇所